



## 星の王子さま

サン＝テグジュペリ作  
内藤 濯訳

岩波書店

「たいせつなことはね、目には見えないんだよ…」

サハラ砂漠に不時着した孤独な飛行士と、「ほんとうのこと」しか知りたがらない純粋な星の王子さまとのふれあいを描いた作品です。



## 結び蝶物語

横山 充男作  
カタヒラジュンシ絵

あかね書房

中学生のあかりは、祖母の家で「二ツ蝶」の家紋に出会い、自分のルーツに興味を抱きます。残っていた資料を調べたあかりは、滋賀、兵庫、京都の神社を訪ね、先祖に思いをはせます。



## 本当の「頭のよさ」ってなんだろう？

斎藤 孝作

誠文堂新光社

「あの人は頭がいい」とか「自分は頭がよくないから」とかいうことがあります。その根拠は何でしょうか？この本では、さまざまな身近なテーマから、もの考え方を身につけて、頭のよさを磨いていく方法を紹介します。



## モモ

ミヒヤエル・エンデ作  
大島 かおり訳

岩波書店

町はずれの円形劇場あとにまよいこんだ不思議な少女モモ。町の人たちはモモに話を聞いてもらおうと、幸福な気持ちになるのです。そこへ、「時間どろぼう」の男たちの魔の手が忍び寄ります…。



## 枕草子

清少納言作

汐文社

清少納言により執筆された随筆の名作「枕草子」。教科書に出てくる有名な古典が、愉しくリズムのよい現代文と美しい挿し絵で、すらすら読めます。原文も収録されており、現代文と原文を読み比べることが、より深い読みが可能になります。



## ロミオとジュリエット

ウィリアム・シェイクスピア原作  
小田島 雄志文  
里中 満智子絵

汐文社

シェイクスピア学者の小田島雄志がジュニア向けに文を書き、漫画家の里中満智子が絵を描いた、あまりにも有名なロミオとジュリエットの愛の物語です。はたして二人の純愛の行方は…。

## おわりに

ここでは、中学生に「おすすめ本30冊」を紹介しています。

選書にあたっては、各小・中学校の先生方のご意見をもとに、熊本市立図書館司書が選定を行いました。図書館などで本を選ぶ際、お使いください。

図書館には、他にも楽しい本がたくさんあります。みなさんの心を動かす1冊と出会えることを願っています。



編集発行 **熊本市立図書館**  
〒862-0971 熊本市中央区大江6丁目1-74  
TEL:096-363-4522 FAX:096-372-4252

ホームページ <https://www.library.city.kumamoto.jp/>

※50音順



## あずかりやさん

大山 淳子作

ポプラ社

東京下町でひっそりと営業する、一日百円で何でも預かるという「あずかりや」。

日本屈指の盆栽の名人がのこした名木を、不肖の孫が受け継いだことから巻き起こる大騒動！ほっこり切ない人気シリーズの第4弾。



## 穴 HOLES

ルイス・サッカー作  
幸田 敦子訳

講談社

代々不運にみまわれてきた一族に生まれたスタンリーは、無実の罪で砂漠の少年院に入れられます。不毛の地に“穴”を掘るだけの日々から脱出し、一族に伝わる“約束の地”をめざし、不運を幸運に逆転する冒険へと踏み出します。



## アンデルセンの夢の旅

ハインツ・ヤーニッシュ作  
天沼 春樹訳

西村書店

たった一人でコペンハーゲンを旅立ったまじしい靴屋の息子ハンス。歌ったり、お芝居をしたりしたいというハンス少年の夢は途中で挫折しますが、苦労の末、お話を書くことで自分の王国を手に入れます。「童話の王様」ハンス・クリスチャン・アンデルセンの楽しめる伝記絵本です。



## いちばん美しい世界の絶景遺産

ナショナルジオグラフィック編

日経ナショナルジオグラフィック社

自然の美が素晴らしい世界遺産を写真で巡る一冊です。目を見張るような絶景66カ所が選ばれており、ローケーションマップと解説でさらに自然遺産を楽しめます。



## インコの謎

細川 博昭作

誠文堂新光社

家庭でも大人気のインコ。人間とインコがなぜ似ているのか、どこが似ているのかが違っているのか、そういったインコに関する謎を科学的にやさしく、詳しく解説した本です。



## お探し物は図書室まで

青山 美智子作

ポプラ社

人生に悩む人々が、ふとしたきっかけで訪れた小さな図書室。「お探し物は、本ですか？仕事ですか？人生ですか？」悩む人の背中を不愛想なのにどうしてだか聞き上手な司書さんが、思いもよらない本のセレクトと可愛い付録で後押ししてくれます。

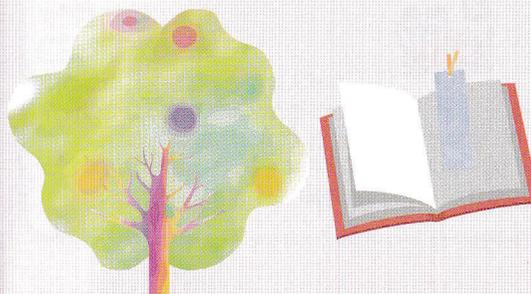


## 髪がつかない物語

別司 芳子作

文研出版

長く伸ばした自分の髪を切って寄付する「ヘアドネーション」。寄付された髪で「医療用ウィッグ」を作り、無償で提供されます。「ヘアドネーション」の日本における活動を、ボランティアとして参加した子どもたちを通して紹介します。





## カラフル

森 絵都作  
文藝春秋

「おめでとうございます、抽選にあたりました！」一度死んだぼくは、天使業界の抽選で再挑戦のチャンスを得た。それは、自殺を図った少年の体にホームステイし、自分の罪を思い出さなければならぬ修行だった。



## 三国志 (上・中・下)

羅貫中作  
小川 環樹・武部 利男訳  
岩波書店

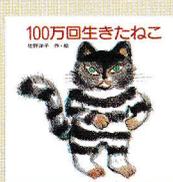
戦乱に苦しむ民を見て、玄德（劉備）は関羽・張飛と兄弟のちぎりを結び、軍師孔明をむかえて天下統一をめざします。英雄と豪傑が入り乱れ、力のかぎりをつくして戦う勇壮なドラマがここに始まります。



## スアレス一家は、今日もにぎやか

メグ・メディナ作  
橋本 恵訳  
ポプラ社

11歳のメルシは、サッカーの得意な女の子。新しい自転車を買うためにアルバイトだってしたいのに、困った家族のおかげでいつも右往左往。家族ってホントめんどくさい！2019年ニューベリー賞受賞作。



## 100万回生きたねこ

佐野 洋子作  
講談社

100万年も死なないねこがいました。100万回も死んで、100万回も生きた、りっぱなとらねこでした。たくさん飼いに愛され、別れてきたねこ。あるとき、のらねこになったねこは、白く美しいねこに出会い…。読むたびにちがう気持ちになる、りっぱなとらねこの、ふしぎな物語絵本です。



## ぎぶそん

伊藤 たかみ作  
ポプラ社

中学2年、少年ガクは、仲間を集めてバンドをはじめます。親友のマロと幼なじみのリリィ、それにギターがうまいと噂の問題児たける。淡い恋、文化祭ライブ、十四歳のできごとのひとつひとつが多彩な音を響かせあう青春ストーリーです。



## しゃばけ

畠中 恵作  
新潮社

江戸のやくし屋の一人息子、一太郎は体が弱く外出もままなりません。ところが、目を盗んで出かけた夜に人殺しを目撃してしまい、一太郎は家族同様の妖怪たちと解決に乗り出すことに…。愉快で不思議な大江戸人情推理帖。



## スピニー通りの秘密の絵

ローラ・マークス・フィッツジェラルド作  
千葉 茂樹訳  
あすなる書房

ニューヨークを舞台にくりひろげられる美術ミステリーです。主人公のセオは13歳の女の子。ある日、祖父が「卵の下を探せ」という謎の言葉を残して世界。謎が謎を呼び、物語は思いもかけない方向へ進みます。



## 木を植えた男

ジャン・ジオノ作  
フレデリック・バック絵  
あすなる書房

南フランスの山岳地帯、プロヴァンスにただ一人とどまり、荒れはてた地に何十年もの間、人知れず黙々と木を植え続け、緑の森をよみがえらせたエルゼアル・ブフィエ。その不屈の精神を描いた、じっくり味わえる物語絵本です。



## 十五少年漂流記

ジュール・ベルヌ作  
那須 辰造訳  
講談社

15人の少年をのせた船は、荒れ狂う南半球の海上で嵐にもまれ無人島に漂着した。年齢も国籍もちがう少年たちが、勇気と知恵を出し合って、自然に、そして内部の対立に立ち向かう胸ときめかせる長編冒険小説！



## たまごを持つように

みはら 三桃作  
講談社

たまごのように不器用で、たまごを持つように弓を握り、手探りで心を通わせていく中学校弓道部の男女3人。弓道への情熱、不器用な友情と恋愛。こわれやすい心がぶつかりあう優しい青春小説です。



## クラブアート

オトフリート・プロイスラー作  
中村 浩三訳  
偕成社

荒地の水車場の見習いになった身寄りのない少年クラブアートは、親方から魔法を習います。おそろしい親方に歯向かえず、魔法の腕をみがく中、クラブアートはある少女に心を奪われ、命をかけて親方と対立することになります。



## 14歳の君へ どう考えどう生きるか

池田 晶子作  
毎日新聞社

なぜ人は生きるのか？何のために生きるのか？混乱しきったこの世界で、君はどうやって生きていけばいいだろう。迷っている心に、自ら考える力を。確かな言葉でつづられた「人生の教科書」とも言える一冊です。



## 晴れた日は図書館へいこう

緑川 聖司作  
岩波書店

本が大好きな少女、しおりの楽しみは、憧れのいとこ、美弥子さんが司書を務める図書館へ通うことです。幻の司書を探す男性、本と海に隠された宝の地図、本を残して家出した少年に切り裂かれた本の秘密…図書館で起こる一風変わった事件の謎を追う、図書館ミステリーです。



## 不思議がいっぱいあふれだす!

夢野 久作 / 小山内 薫 / 豊島 与志雄  
小泉 八雲 / 久米 正雄 / 夏目 漱石  
芥川 龍之介 / 太宰 治作

くもん出版

日本を代表する近・現代作家の作品を、読書にとりかかりやすい「短篇作品」の中から精選してあります。中学校の国語教師や読書指導のベテランが、十代の読者の興味や読書力を配慮して編集してありますので、原文を損なわない範囲で、読みやすい表記になっており、さらに難しい言葉には脚注がほどこしてあります。教室での「朝の十分間読書」にも適しており、楽しい読書を提供します。



## ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー

ブレイディみか作  
新潮社

優等生の「ぼく」が通う「元・底辺中学校」は、毎日が事件の連続。人種差別丸出しの美少年、ジェンダーに悩むサッカー小僧。時には貧富の差でギスギスしたり、アイデンティティに悩んだり。世界の縮図のような日常を、思春期真っ只中の息子とパンクな母ちゃんの著者は、ともに考え悩み乗り越えていきます。

